

令和 7 年度

千葉大学工学部

総合工学科

(デザインコース・物質科学コース)

総合型選抜 学生募集要項

令和 6 年 6 月

目 次

工学部入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）	1
---------------------------	---

I デザインコース 総合型選抜

1. 募集する学科・コース及び募集人員	3
2. 出願資格	3
3. 身体等に障害のある入学志願者の事前相談	4
4. 出願手続等	4
5. 入学者選抜	9
6. 合格者発表等	10
7. 入学手続等	11
8. コースの紹介	12
9. 令和6年度デザインコース総合型選抜実施状況	12

II 物質科学コース 総合型選抜（理数大好き学生選抜）

1. 募集する学科・コース及び募集人員	13
2. 出願資格	13
3. 身体等に障害のある入学志願者の事前相談	14
4. 出願手続等	14
5. 入学者選抜	18
6. 合格者発表等	19
7. 入学手続等	20
8. コース及び特別カリキュラムの紹介	20
9. 令和6年度物質科学コース総合型選抜実施状況	21

III 入学後の教育について	22
----------------	----

IV 次年度入学者選抜の変更（予告）	23
--------------------	----

千葉大学案内図，工学系学部学務室 問い合わせ先	裏表紙
-------------------------	-----

工学部ホームページ <https://www.f-eng.chiba-u.jp/>

工学部入学者受入れの方針（アドミッションポリシー）

【工学部入学者受入れの方針】

・工学部の求める入学者

現代社会では、豊かな暮らしを目指して効率性や利便性を追求するだけでなく、人と環境にやさしい配慮も求められています。工学部では、工学教育の伝統的な専門性を尊重しながらも、その枠を超えて互いの連携・融合を図ることにより、常に、広範な社会的要請に応えられる専門教育システムの確立に努めています。そして、「なぜ」を問い、「何をなすべきか」を考え、「いかにして」を構想し実践できる工学技術者・研究者の育成を目指します。

私たちは、工学を「豊かな人間社会の構築を目指す実践の学問」と考えています。社会と環境を支える技術者・研究者を育成する工学部では、

1. 「なぜ」を問う好奇心・探究心
2. 「何をなすべきか」を主体的に考える力
3. 「いかにして」を構想し、実践する力

を修得することに、興味と資質を有する人材を求めます。

・入学者選抜の基本方針

本学部の教育理念・目標に合致した学生を選抜するために、以下のとおり入学者選抜を実施します。

1. 一般選抜

（1）前期日程

大学入学共通テスト、個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合して評価します。

（2）後期日程（デザインコース及び物質科学コースは除く）

大学入学共通テスト、個別学力検査等の成績及び調査書の内容を総合して評価します。

2. 特別選抜

（1）総合型選抜

①デザインコース

第1次選抜では、提出された調査書等及び試験第1日目に行う専門適性を判定する課題の内容を総合的に評価し、第1次選抜合格者を決定します。第2次選抜では、第1次選抜合格者に対して、試験第2日目に課題説明を含めた面接を行い、それらの結果からデザインコースで学ぶための資質と適性を総合的に評価し第2次選抜合格者を決定します。第2次選抜合格者のうち、大学入学共通テストで指定する教科・科目の総得点（配点合計）が概ね70％に達した者を最終合格者として決定します。

②物質科学コース（理数大好き学生選抜）

（ア）方式Ⅰ

スーパーサイエンスハイスクール（SSH）活動やクラブ活動、あるいは個人等で行った課題研究で優れた成果をあげたものには、個別学力検査に代え、当該課題研究に関する発表等を含めた面接を行い、数学・理科の基礎的な資質・能力、自己表現力、熱意などを総合的に評価します。また、大学入学共通テストの成績で、指定する教科・科目の総得点（配点合計）が概ね70％に達した者を最終合格者として決定します。

（イ）方式Ⅱ

著名な国際科学コンクールの日本代表またはそれに準ずる成績をおさめたものには、個別学力検査に代え、受賞した研究に関する発表や口頭試問を含めた面接を行い、基礎学力、数学・理科の基礎的な資質・能力、自己表現力、熱意などを総合的に評価します。

（2）先進科学プログラム（飛び入学）学生選抜

先進科学プログラムの入学者選抜の基本方針に基づき評価します。

（3）私費外国人留学生選抜

外国人留学生に対して、提出書類、日本留学試験の成績及び面接により総合的に判定します。面接ではコミュニケーション能力、学習意欲、各コースの専門分野における広い関心について評価します。

・入学までに身に付けてほしいこと

高等学校で履修した科目（大学入学共通テストで課している科目）について十分に理解できていることが必要です。数学を含む理系科目は工学の基礎となる科目なのでとても重要ですが、国語や外国語も将来、国内外の知見を収集し、成果を発信する上で重要です。論理的な思考で組み立てられた論文や報告書、発表や説明ができなければ、自らの考えを他人に伝えられないので、技術者・研究者としての価値がなくなってしまいます。また、「なぜ」を問い、「何をなすべきか」を考え、「いかにして」を構想し実践する上で、もう一つ重要なこととして、「学ぶ」ことを楽しむ姿勢を身に付けていて欲しいと考えています。

なお、工学部では、工学共通の教育に加えて、専門性を深めていくために、8つのコースのうちのいずれかに所属して学習していきます。それぞれのコースで学ぶに当たっては、特に以下のような能力や姿勢を身に付けておくことが望まれます。

建築学コース：建築・都市及び社会の動向や芸術文化に関心を持ち、現代の様々な課題に対して意欲的に探究する姿勢。

都市工学コース：持続的で豊かな都市の創造を目指して、探求心と総合的視野を持ちつつ、都市に関わる様々な課題に取り組む意欲。

デザインコース：地球環境、社会、文化など幅広い事象に興味を示し総合して考える姿勢、最先端の科学と技術を理解して、様々に試みを行いながら創造的な提案を実現しようとする意欲。

機械工学コース：事物や現象から仕組みを物理的及び化学的に洞察して数学的に表現する能力、幅広い分野の知識を統合して物事を総合的に捉える能力、ならびに機械工学への興味。

医工学コース：電気電子工学、機械工学、情報工学など幅広い関心を有すること。また、医工学は生命や健康と福祉に直接的・間接的に寄与しているという意識。

電気電子工学コース：電気電子工学の社会的使命に興味を示し、その科学技術の発展に寄与したいと強く希望する姿勢。さらに、そのための専門的な知識・能力を習得する意欲と、それを支える基礎的素養と能力。

物質科学コース：自然の様々な現象や人類の発明・発見について興味を深め、自ら積極的に物質科学における問題を探究するための基礎となる、物理、化学及び数学の総合的な学力。

共生応用化学コース：化学を中心にした学問領域を学ぶための基礎学力と、将来、化学だけでなく他の分野との境界領域で仕事をするために化学以外の科目にも興味を持って学ぶ姿勢。

I デザインコース 総合型選抜

私たちの日常生活やその環境に存在する問題点を解決し、より快適で美しいものを創造するデザインは、今、あらゆる領域で重要視されています。

千葉大学工学部総合工学科デザインコースでは、生活文化と深く関わり多様なニーズに柔軟に対応すると同時に、技術や科学に裏付けされた芸術性・人間性豊かなデザインの実現を目指し、既存の概念にとらわれない発想力を備え、粘り強く課題に取り組める優れた学生を募集します。

なお、本学部の総合型選抜においては、デザインコース、物質科学コースのいずれかにしか出願できません（複数コースへの出願はできません）。

1. 募集する学科・コース及び募集人員

募 集 学 科 ・ コ ー ス	募集人員
総 合 工 学 科 デ ザ イ ン コ ー ス	20

2. 出願資格

次の①～⑧のいずれかに該当し、かつ、令和7年1月実施の令和7年度大学入学共通テストで指定する教科・科目（選抜方法等を参照）を受験する者

- ① 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
- ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
※特別支援学校の高等部又は高等専門学校3年次を修了した（見込みの）者が該当します。
- ③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和7年3月までに修了見込みの者
- ⑥ 文部科学大臣の指定した者
- ⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び令和7年3月までに合格見込みの者
- ⑧ 学校教育法第九十条第二項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの

3. 身体等に障害のある入学志願者の事前相談

身体等に障害があり、受験上又は修学上特別な配慮を必要とするものは、出願に先立ち、次により事前相談の申請を行ってください。

(1) 提出書類

- ① 事前相談申請書（用紙は、工学系学部学務室に請求してください。）
- ② 医師の診断書（障害の程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの）

(2) 相談内容の検討

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行います。ただし、検討の過程において、志願者本人、保護者又は出身学校関係者へ照会する場合があります。

(3) 事前相談の締切日

令和6年9月6日（金）

(4) 申請書請求先及び書類提出先

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号
千葉大学工学系学部学務室
電話 043-290-3054

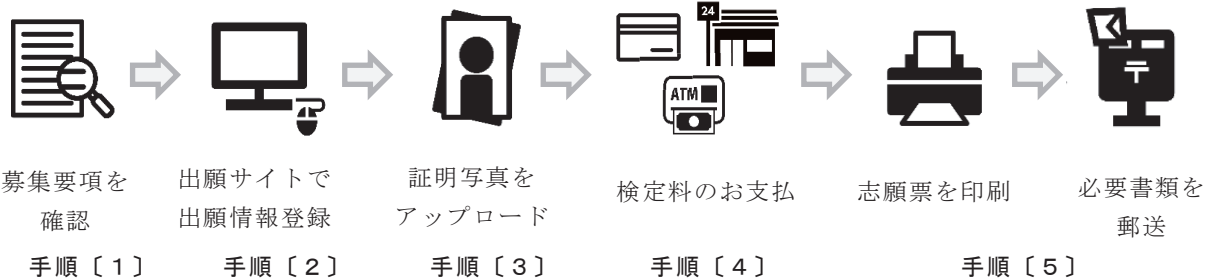
4. 出願手続等

千葉大学工学部総合型選抜の出願は、「インターネット出願」による手続となります。

利用案内や出願方法等の詳細は、千葉大学ホームページに掲載する出願サイト（ガイダンスサイト）を参照してください。

なお、インターネット出願では、出願サイトでの出願情報の登録及び検定料の入金だけでは出願は完了しません。出願書類が所定の出願受付期間内に本学に到着してはじめて出願完了となりますので、あらかじめご注意ください。

インターネット出願の流れ



出願サイト

千葉大学ホームページから出願サイト（ガイダンスサイト）にアクセスします。

ガイダンスサイトでは、「利用案内」や「出願方法」のほか、「よくある質問」を掲載していますので、出願を始める前によくお読みください。



<https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/gakubu/special.html>

出願期間	
出願サイトでの出願情報登録期間	令和6年9月17日（火）9時～9月27日（金）15時
郵送による出願書類受付期間	令和6年9月24日（火）～9月27日（金）【必着】
(注) 1 出願書類は、配達に要する日数を見込み、余裕をもって郵送してください。出願書類受付期間内に到着しない場合は、受理できません。 2 やむを得ず持参する場合は、事前に連絡をした上で、出願受付期間（土日を除く。）の9時から12時、13時から17時の間に、工学系学部学務室へ直接持参してください。	
出願方法	
(1) 出願の手順〔1〕～〔5〕により行ってください。出願方法全般について不明な点があるときは、工学系学部学務室へ問い合わせてください。	
(注) 1 出願書類に不備があると受理できませんので、間違いのないようよく確認してください。 2 受理した出願書類は返却しません。 3 志願票等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。 4 出願後、転居等の理由により、出願サイトで登録した現住所・連絡先に変更がある場合は、直ちに工学系学部学務室へ連絡してください。	

（１）出願の手順

〔１〕募集要項の確認、提出書類の準備

募集要項をよく読んで出願資格を確認し、以下に注意して出願書類等を準備してください。

- (注) 1 出願資格に応じた**証明書類（調査書等）の提出**が必要です。7～8ページを確認の上、証明書類を準備してください。

〔２〕出願情報の登録

千葉大学ホームページから出願サイト（ガイダンスサイト）にアクセスし、必要事項を登録してください。

出願登録の際は、以下の（注）及び出願サイトの「利用案内」や「よくある質問」等をよく読み、誤りがないか十分確認してください。

出願サイトは、千葉大学ホームページからアクセスしてください。

（ <https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/gakubu/special.html> ）

※操作に関するお問い合わせは、志願受付操作サポート窓口までお願いします。

志願受付操作サポート窓口

TEL：0120-752-257 （受付 9時～20時）

※お問い合わせの前に「よくある質問」をご確認ください。

(注) 出願情報の登録完了前に「入力内容の確認画面」で誤りがないかよく確認してください。
入力内容に誤りがある場合には、状況に応じて、以下のとおり対応してください。

■ 出願情報の登録完了前 ▶ 入力画面に戻って誤った内容を修正してください。

■ 出願情報の登録完了後 ▶ 検定料の入金状況により、いずれかの対応をしてください。

1) 検定料入金前 ▶ 検定料は入金せず、再度はじめてから出願情報の登録を行ってください。

誤った内容の出願登録は、そのままにしておいて構いません。

2) 検定料入金後 ▶ 出願サイトでは誤った内容を修正できません。速やかに工学系学部学務室へ連絡し、その指示に従ってください。

ただし、「現住所」と「連絡先」の誤りに限り、6～7 ページ

「〔5〕志願票の印刷・出願書類の郵送」の(注)2のとおり修正してください。

〔3〕証明写真のアップロード

試験当日における本人照合用の証明写真を、出願サイトにアップロードしてください。

(注) 1 証明写真データは、直近3ヶ月以内に撮影した、カラー写真（白黒不可）、上半身・正面・無帽、背景なし、枠なしのものに限ります。英文字や数式、地図等がプリントされている服等を着用しているものも不可とします。

2 写真データのサイズは **100KB 以上 5MB 以下**、データ形式はファイル拡張子が「**jpeg**」又は「**png**」のいずれかである必要があります。

〔4〕検定料の支払い

クレジットカード決済、コンビニエンスストア決済、銀行 ATM（Pay-easy）又はネットバンキングで検定料 17,000 円を支払ってください。

上記〔2〕出願情報の登録が完了すると、登録したメールアドレス宛てに出願登録確認メールが届き、支払い方法の詳細をお知らせしますので、よく確認の上、支払ってください。

(注) 1 検定料のほかに、手数料（インターネット出願システム使用料）700 円が必要です。なお、手数料は志願者負担となります。

2 いったん納入した検定料は原則として返還しません。ただし、検定料を誤って振込み出願しなかった者については、検定料の全額（17,000 円）を返還します。返還手を希望する旨を工学系学部学務室に連絡してください。

（返還手続の期限：令和7年3月31日（月）17時まで）

〔5〕志願票の印刷・出願書類の郵送

次の出願書類 1～3 を用意し、「出願用封筒」に同封の上、出願書類受付期間（5 ページ参照）に届くように、工学系学部学務室に簡易書留・速達郵便で送付してください。

- (注) 1 「出願用封筒」は、出願サイトから「出願用ラベル（宛名入り）」をダウンロードし、A4用紙にカラー印刷したものを、市販の角形2号封筒（240mm×332mm）に貼って作成してください。
- 2 「志願票」及び「出願用ラベル」の印刷後、記載内容に誤りがないか確認し、誤りがある場合は、速やかに工学系学部学務室に連絡してください。ただし、「現住所」及び「連絡先」に誤りがあった場合に限り、二重線を引き（訂正印は不要）、余白部分に正しい内容を明記の上、送付してください（志願票の※欄には何も記入しないでください）。

出願書類		摘要	
1	千葉大学志願票	出願サイトからダウンロードし、A4用紙にカラー印刷してください。	
2	調査書等	「出願資格」に応じて、指定された証明書類を用意し提出してください。	
		出 願 資 格	証 明 書 類
		1. 高等学校，中等教育学校 又は特別支援学校高等部の 卒業(見込)者	調査書 ※既卒者は，卒業後に発行された調査書を提出してください。令和2年3月以前に卒業等した者は，従前の様式で作成した調査書でも差し支えありません。なお，卒業後5年以上が経過し，調査書を入手できない場合は，卒業証明書及び単位修得証明書等を提出してください。 ※上記証明書が発行されず提出ができない場合は，発行できない旨の証明書を提出してください。
		2. 高等専門学校第3学年修了 (見込)者 3. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程の修了(見込)者	文部科学省の定めた調査書に準じて作成したもの
		4. 高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定) 合格者	合格成績証明書 (高等学校等で単位を修得したことにより試験を免除された科目がある場合，その単位を修得した高等学校等の成績証明書も併せて提出してください。)
		5. 高等学校卒業程度認定審査合格者	合格証明書

		6. 外国において学校教育における12年の課程の修了(見込)者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 7. 国際バカロレア資格取得者 8. 文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程の修了(見込)者	成績証明書
		9. WASC, ACSI又はCISの認定を受けた教育施設の12年の課程の修了(見込)者	当該教育施設が左記団体から認定を受けていることが明記された成績証明書
		10. アビトゥア資格取得者	一般的大学入学資格証明書
		11. フランス共和国におけるバカロレア資格取得者 12. 欧州連合構成国におけるヨーロッパ・バカロレア資格取得者	バカロレア資格試験成績証明書
		13. ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者 14. インターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格取得者	成績評価証明書
3	志望理由書(デー1)	以下の URL から様式をダウンロードして、デザインコースを志望する理由とデザインを学びたいと思ったきっかけを 800 字以内で記入してください。黒のボールペンを用い、横書きで志望者本人が記入してください。 誤って記入した場合は、修正液などで訂正し記入してください。 ※ワープロ等でプリントアウトした原稿の貼り付けはできません。 https://www.f-eng.chiba-u.jp/admission/application.html	

(2) 出願書類の受理通知

本学で出願書類を受理した後、不備がなければ、出願サイト(申込確認画面▶申し込み一覧)にその旨を掲載しますので、確認してください。不備がある場合は、工学系学部学務室から問い合わせがあります。

(3) 受験票の印刷

受験票ダウンロード開始日以降、出願サイトで受験票をダウンロードし、必ずA4用紙にカラー印刷してください。

受験票ダウンロード開始日	令和6年10月11日(金)14時以降(予定)
--------------	------------------------

(4) 出願の際の留意事項等

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ② 出願後の出願内容の変更はできません。
- ③ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。

- ④ 志願票等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 本選抜の可否及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入学共通テスト受験番号）は、大学入試センター及び併願先の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除く。以下同じ。）に提供され、国公立大学の一般選抜合格者の決定を行うための情報として利用されます。
- ⑥ 本選抜の過程で収集した個人情報は入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。

5. 入学者選抜

選 抜	選抜期日及び日時	選 抜 方 法 等								
第 1 次選抜 （課題及び 出願書類審査）	令和 6 年 10 月 19 日（土）	専門適性をみる課題を行います。 <table border="1"> <tr> <th>区 分</th><th>時 間</th><th>場 所</th></tr> <tr> <td>課 題 1</td><td>10:00～12:00</td><td rowspan="2">工 学 部 校 舎</td></tr> <tr> <td>課 題 2</td><td>13:30～16:00</td></tr> </table> 専門適性をみる課題及び出願書類を総合的に評価し、第 1 次選抜合格者を決定します。 また、課題での携行品（使用できるもの）は以下のとおりです（貸出しはしません）。 鉛筆（H から 4B 程度）、鉛筆削り、消しゴム、 三角定規（30cm 程度）1 組、目盛付直定規（30cm 程度）、 コンパス、カッターナイフ、はさみ なお、受験に関する注意事項等の詳細については、令和 6 年 10 月 7 日（月）までに工学部のホームページ（https://www.f-eng.chiba-u.jp/）に掲載いたします。また、令和 6 年 10 月 18 日（金）9 時に工学部掲示板へ試験室等を掲示します。	区 分	時 間	場 所	課 題 1	10:00～12:00	工 学 部 校 舎	課 題 2	13:30～16:00
区 分	時 間	場 所								
課 題 1	10:00～12:00	工 学 部 校 舎								
課 題 2	13:30～16:00									
第 2 次選抜 （面接）	令和 6 年 10 月 20 日（日） 13 時 00 分～	第 1 次選抜合格者に対し、面接を工学部校舎で順次行い、第 2 次選抜合格者を決定します。 なお、面接に関する注意事項等の詳細については、第 1 次選抜の結果発表時（10 月 20 日（日）10 時）に工学部掲示板へ掲示します。								

大学入学共通テスト

令和 7 年

1 月 18 日（土）

～ 19 日（日）

第 2 次選抜合格者のうち、令和 7 年度大学入学共通テストにおいて下表の指定教科・科目を受験し、指定教科・科目の総得点（配点合計）が概ね 70% に達した者を最終合格者として決定します。

大学入学共通テストの指定教科・科目等				
指 定 教 科 ・ 科 目		指定科目数	配点	
国 語	「国語」	左記より 1 科目	200	合計 600
地理歴史 公 民	「地理総合、地理探究」，「歴史総合、日本史探究」，「歴史総合、世界史探究」，「公共、倫理」，「公共、政治・経済」，「旧世界史 B」，「旧日本史 B」，「旧地理 B」，「旧倫理、旧政治・経済」※			
理 科	「物理」，「化学」，「生物」，「地学」			
数 学	「数学Ⅰ，数学 A」，「旧数学Ⅰ・旧数学 A」※	1 科目	100	
	「数学Ⅱ，数学 B，数学 C」，「旧数学Ⅱ・旧数学 B」※	1 科目	100	
外 国 語	「英語（リーディング+リスニング）」	1 科目	200	

※配点について、地理歴史、公民及び理科（配点 100 点）は 200 点満点に換算し、英語はリーディング（配点 160 点）とリスニング（配点 40 点）の合計 200 点とします。

また、国語、地理歴史、公民及び理科は、出願時に予め受験する科目を 1 科目指定してください。

※「旧～」で始まる科目は、学習指導要領の改訂に伴う経過措置として実施される旧教育課程履修者のみ受験可能な科目です。新教育課程履修者は受験できません。

（注）大学入学共通テストの指定教科・科目について

総合型選抜と個別学力検査（前期日程）両方でデザインコースの受験を予定している場合、それぞれの選抜で、大学入学共通テストの指定教科・科目が異なるので注意してください。

〔千葉大学で公表する入学者選抜要項や学生募集要項などを確認のうえ、大学入学共通テストの受験教科・科目を選択し出願してください。〕

6. 合格者発表等

（1）第 1 次選抜合格者発表

第 1 次選抜合格者受験番号を令和 6 年 10 月 20 日（日）10 時に工学部掲示板へ掲示するとともに、第 2 次選抜（面接）に関する注意事項等の詳細もあわせて掲示します。

（2）第 2 次選抜合格者発表

第 2 次選抜合格者受験番号を令和 6 年 11 月 8 日（金）13 時頃に千葉大学工学部ホームページ（<https://www.f-eng.chiba-u.jp/>）へ掲載します（11 月 12 日（火）17 時まで）。また、合格者に同選抜結果通知書等の関係書類を送付します。

第 2 次選抜合格者には「令和 7 共通テスト成績請求票 国公立総合型選抜用」を工学系学部学務室へ送付していただきます。

（3）最終合格者発表

合格者に合格通知書等を送付します。なお、最終合格者発表日時については、第 2 次選抜合格

者に別途通知します。

- (注) 合格者は、令和 7 年 2 月又は 3 月に実施する国公立大学の個別学力検査等を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。ただし、特別の事情があり、本学部に「入学辞退願」を提出し、その許可を受けた場合にはこの限りではありません。

7. 入学手続等

(1) 入学手続方法

令和 6 年度入学手続から「WEB 入学手続きシステム」を導入しています。合格者の皆様の利便性を図るため、システムを利用いただくことで大学への来校を不要とし、入学料納入もクレジットカード決済やコンビニ支払いとします。「WEB 入学手続きシステム」や「入学手続」の詳細は千葉大学ホームページへ掲載し、合格者の皆様には合格通知書とともに手続き方法の案内を発送します。入学手続を行わないと入学を辞退したものと見なしますので十分注意してください。

- (注) 1 入学手続には、令和 7 年度の「大学入学共通テスト受験票」及び「千葉大学受験票（又は合格通知書）」が必要です。大切に保管してください。

2 本選抜の入学手続を完了した場合、他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。

(2) 入学手続の際に納入する主な経費

入学料……………282,000 円

総合工学科医工学コース以外の学生

学生教育研究災害傷害保険料……………4,660 円（4 年分）（学研災付帯賠償責任保険 A コース含む）

総合工学科医工学コースの学生

学生教育研究災害傷害保険料……………4,730 円（4 年分）（学研災付帯賠償責任保険 A コース、接触感染予防保険金支払特約含む）

- (注) 1. 入学料の納入については、入学手続時に納入願います。詳細な納入期間及び納入方法は、合格通知書に同封の関係書類により、改めてお知らせします。
2. 授業料の納入については、入学年度の前期授業料は 5 月（2 年目以降は 4 月となります。）に、後期授業料は 10 月に、それぞれ口座振替により納入願います。口座振替手続等の詳細は、合格者に対して改めてお知らせします。
- なお、前期分・後期分授業料は、それぞれ 321,480 円（年額 642,960 円）です。
3. 入学料及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。
4. 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。
5. 入学料及び授業料が免除される制度があります。詳細は、千葉大学ホームページ（<https://www.chiba-u.ac.jp/students/payment/exemption.html>）をご覧ください。
6. 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険料は、令和 7 年 3 月 31 日（月）までに払い込んでください。



※当該保険について

正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。又、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。なお、保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。詳細は、千葉大学ホームページ（https://www.chiba-u.ac.jp/for_school-life/support.html）をご覧ください。

7. 入学手続完了者が 3 月 31 日（月）17 時までに入学を辞退した場合には、申し出により既に納入済の学生教育研究災害傷害保険料を返還します。

8. コースの紹介

■デザインコース

＜感性と知性とを備えたデザイナーの養成＞

私達の日常生活やその環境に存在する問題点を解決し、より快適で美しいものを創造するデザインは、今、あらゆる領域で重要視されています。そのため、生活文化と深く関わり多様なニーズに柔軟に対応すると同時に、技術と科学に裏打ちされた芸術性・人間性豊かなデザインの実現することのできる能力を有し、デザイン界をリードして国際的に活躍できる人材が求められており、その育成をめざしています。

入学された皆さんは、まず、教養教育としての普遍教育科目群、工学教育の基礎としての専門基礎科目群により一般基礎教育を学習します。また同時に、専門教育の基礎となる講義や演習によって、デザインに求められる教養としての知識や技術を身につけます。専門教育においては、2年次から3年次までの2年間にわたって用意された〔工業デザイン、トランスポーターデザイン、コミュニケーションデザイン、環境デザイン、デザイン科学演習〕という5つの演習科目を通して、基礎から応用までの一貫した教育を体系的に学ぶことができます。また、海外協定校の学生との国内や海外でのデザインワークショップ等、国際経験を積む機会も準備されています。以上の学習を終えると、4年間の集大成ともいえるべき卒業研究、あるいは、デザイン総合プロジェクトを履修します。

2021年、千葉大学のデザインコースは創立100周年を迎えました。これを機に、本学では、ますます多様化・高度化する社会の課題に次世代のイノベーション創出によって応えるべく「デザイン・リサーチ・インスティテュート（dri）」を立ち上げました。同コースの教育カリキュラムにおいては、この“dri”の所属教員が中心となって、理論・技術の教授のみならず、同時に新設したイノベーション拠点である「墨田サテライトキャンパス」を活用しながら、リアル／バーチャル両面における多数のデザイン実践を行います。こうして、科学や技術に裏打ちされた人間性・芸術性豊かなデザイン能力を涵養し、世界のデザイン界をリードする人材を育成します。さらに、学部を卒業した約半数の人達は大学院に進学し、博士前期課程までの6年間、さらには博士後期課程までの9年間の一貫したより高度な勉学に励んでいます。

本コースの卒業生は、自動車、精密機械、家電製品、家具などの製造業、情報産業や地域開発産業等において、企画・設計・開発などの業務を行うデザイナーとして、また、全国デザイン系大学の教員や試験研究機関におけるデザイン研究者として、第一線でめざましい活躍をしています。

デザインコースホームページ <https://www.f-eng.chiba-u.jp/education/design.html>

9. 令和6年度デザインコース総合型選抜実施状況

募集コース	募集人員	志願者数			第1次選抜合格者数			第2次選抜合格者数			最終合格者数		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
デザインコース	20	22	46	68	9	31	40	5	22	27	3	12	15

Ⅱ 物質科学コース 総合型選抜（理数大好き学生選抜）

千葉大学工学部物質科学コースでは、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）活動やクラブ活動、あるいは個人等で研究を行った高校生を対象とした入試・教育方式『総合型選抜（理数大好き学生選抜）』を行っております。この方式では、理科が大好きな学生が大学でも継続して研究に取り組める体制を整えることにより、千葉大学から科学技術を支え発展させる人材を輩出することを目指しています。そのため、この選抜による入学者には少人数特別カリキュラムが用意されており、早期に専門基礎教育を履修し、研究活動を開始することができます。

この選抜では SSH 活動等で行った研究活動が、面接試験のかたちで評価されます。また、高校 3 年生だけでなく、本年 3 月に卒業した人も出願できます。

なお、本学部の総合型選抜においては、デザインコース、物質科学コース、のいずれかにしか出願できません（複数コースへの出願はできません）。

1. 募集する学科・コース及び募集人員

募集学科・コース等	募集人員	備 考
総合工学科 物 質 科 学 コ ー ス 方式Ⅰ・方式Ⅱ	方式Ⅰ 方式Ⅱ あわせて 9	出願の際、出願する方式を選択してください。

2. 出願資格

次の①を満たし、**方式Ⅰ** については②③、**方式Ⅱ** については④の要件を満たすもの

- ① 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和 6 年 3 月に卒業した者及び令和 7 年 3 月卒業見込みの者（学校教育法施行規則第 93 条第 3 項の規定に基づき令和 6 年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者を含む。）

方式Ⅰ

- ② 次のア又はイのいずれかに該当する者

ア 理科に関する実験・調査活動・クラブ活動などを通して優れた自由研究を行った者

イ 日本学生科学賞（読売新聞社）、JSEC（朝日新聞社）など、審査制度のある自然科学並びに工学系のコンテストやコンクール等で優れた成果を発表した者

- ③ 令和 7 年 1 月実施の令和 7 年度大学入学共通テストで指定する教科・科目（18 ページ参照）を受験する者

方式Ⅱ

- ④ 高校生を対象とした個人研究で、著名な国際科学コンクールの日本代表又はそれに準ずる成績をおさめた者

（注）「著名な国際科学コンクールの日本代表又はそれに準ずる成績をおさめた者」に関する具体例としては下記のような賞があります。

国際学生科学技術フェア（Intel ISEF）の日本代表を決める際の選出対象となる下記の賞

- 1) 日本学生科学賞 入賞者（内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞、科学技術政策担当大臣賞、全日本科学教育振興委員会賞、読売新聞社賞、科学技術振興機構賞、日本科学未来館賞、旭化成賞、読売理工学院賞）など
- 2) 高校生科学技術チャレンジ グランドアワード 3 賞（文部科学大臣賞、科学技術政策担当大臣賞、科学技術振興機構賞）、特別協賛社賞、協賛社賞、主催者賞、協力社賞、特別奨励賞、審査委員奨励賞など

3. 身体等に障害のある入学志願者の事前相談

身体等に障害があり、受験上又は修学上特別な配慮を必要とするものは、出願に先立ち、次により事前相談の申請を行ってください。

(1) 提出書類

- ① 事前相談申請書（用紙は、工学系学部学務室に請求してください。）
- ② 医師の診断書（障害の程度及び必要とする具体的な措置等を記載したもの）

(2) 相談内容の検討

提出された書類に基づき、本学関係者で検討を行います。ただし、検討の過程において、志願者本人、保護者又は出身学校関係者へ照会する場合があります。

(3) 事前相談の締切日

令和6年9月6日（金）

(4) 申請書請求先及び書類提出先

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号
千葉大学工学系学部学務室
電話 043-290-3054

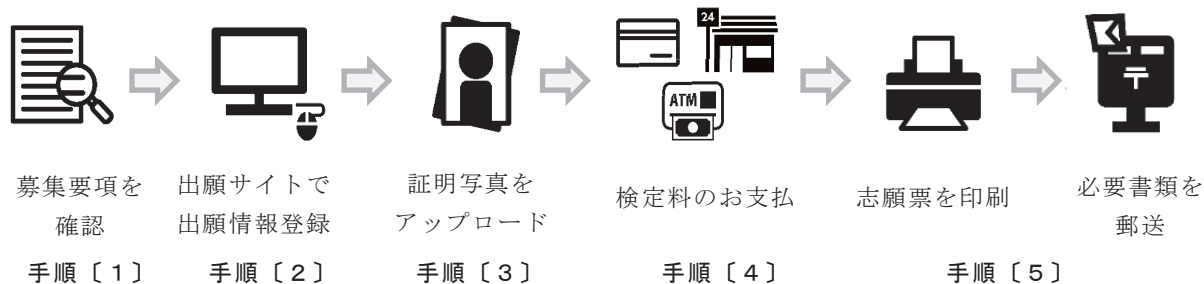
4. 出願手続等

千葉大学工学部総合型選抜の出願は、「インターネット出願」による手続となります。

利用案内や出願方法等の詳細は、千葉大学ホームページに掲載する出願サイト（ガイダンスサイト）を参照してください。

なお、インターネット出願では、出願サイトでの出願情報の登録及び検定料の入金だけでは出願は完了しません。出願書類が所定の出願受付期間内に本学に到着してはじめて出願完了となりますので、あらかじめご注意ください。

インターネット出願の流れ



出願サイト

千葉大学ホームページから出願サイト（ガイダンスサイト）にアクセスします。

ガイダンスサイトでは、「利用案内」や「出願方法」のほか、「よくある質問」を掲載していますので、出願を始める前によくお読みください。



<https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/gakubu/special.html>

出願期間	
出願サイトでの出願情報登録期間	令和6年9月17日（火）9時～9月27日（金）15時
郵送による出願書類受付期間	令和6年9月24日（火）～9月27日（金）【必着】
(注) 1 出願書類は、配達に要する日数を見込み、余裕をもって郵送してください。出願書類受付期間内に到着しない場合は、受理できません。 2 やむを得ず持参する場合は、事前に連絡をした上で、出願受付期間（土日を除く。）の9時から12時、13時から17時の間に、工学系学部学務室へ直接持参してください。	
出願方法	
(1) 出願の手順〔1〕～〔5〕により行ってください。出願方法全般について不明な点があるときは、工学系学部学務室へ問い合わせてください。	
(注) 1 出願書類に不備があると受理できませんので、間違いのないようよく確認してください。 2 受理した出願書類は返却しません。 3 志願票等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。 4 出願後、転居等の理由により、出願サイトで登録した現住所・連絡先に変更がある場合は、直ちに工学系学部学務室へ連絡してください。	

（１）出願の手順

〔１〕募集要項の確認、提出書類の準備

募集要項をよく読んで出願資格を確認し、以下に注意して出願書類等を準備してください。

(注) 1 出願資格に応じた**証明書類（調査書）**の提出が必要です。17 ページを確認の上、証明書類を準備してください。

〔２〕出願情報の登録

千葉大学ホームページから出願サイト（ガイダンスサイト）にアクセスし、必要事項を登録してください。

出願登録の際は、以下の（注）及び出願サイトの「利用案内」や「よくある質問」等をよく読み、誤りがないか十分確認してください。

出願サイトは、千葉大学ホームページからアクセスしてください。

（ <https://www.chiba-u.ac.jp/admissions/gakubu/special.html> ）

※操作に関するお問い合わせは、志願受付操作サポート窓口までお願いします。

志願受付操作サポート窓口

TEL：0120-752-257 （受付 9時～20時）

※お問い合わせの前に「よくある質問」をご確認ください。

(注) 出願情報の登録完了前に「入力内容の確認画面」で誤りがないかよく確認してください。

入力内容に誤りがある場合には、状況に応じて、以下のとおり対応してください。

■ 出願情報の登録完了前 ▶ 入力画面に戻って誤った内容を修正してください。

■ 出願情報の登録完了後 ▶ 検定料の入金状況により、いずれかの対応をしてください。

1) 検定料入金前 ▶ 検定料は入金せず、再度はじめてから出願情報の登録を行ってください。

誤った内容の出願登録は、そのままにしておいて構いません。

2) 検定料入金後 ▶ 出願サイトでは誤った内容を修正できません。速やかに工学系学部学務室へ連絡し、その指示に従ってください。

ただし、「現住所」と「連絡先」の誤りに限り、16～17 ページ「〔5〕志願票の印刷・出願書類の郵送」の(注)3のとおりに修正してください。

〔3〕証明写真のアップロード

試験当日における本人照合用の証明写真を、出願サイトにアップロードしてください。

(注) 1 証明写真データは、直近3ヶ月以内に撮影した、カラー写真（白黒不可）、上半身・正面・無帽、背景なし、枠なしのものに限ります。英文字や数式、地図等がプリントされている服等を着用しているものも不可とします。

2 写真データのサイズは **100KB 以上 5MB 以下**、データ形式はファイル拡張子が「**jpeg**」又は「**png**」のいずれかであることが必要です。

〔4〕検定料の支払い

クレジットカード決済、コンビニエンスストア決済、銀行 ATM（Pay-easy）又はネットバンキングで検定料 17,000 円を支払ってください。

上記〔2〕出願情報の登録が完了すると、登録したメールアドレス宛てに出願登録確認メールが届き、支払い方法の詳細をお知らせしますので、よく確認の上、支払ってください。

(注) 1 検定料のほかに、手数料（インターネット出願システム使用料）700 円が必要です。なお、手数料は志願者負担となります。

2 いったん納入した検定料は原則として返還しません。ただし、検定料を誤って振込み出願しなかった者については、検定料の全額（17,000 円）を返還します。返還手続きを希望する旨を工学系学部学務室に連絡してください。

（返還手続きの期限：令和7年3月31日（月）17時まで）

〔5〕志願票の印刷・出願書類の郵送

次の出願書類 1～5 を用意し、「出願用封筒」に同封の上、出願書類受付期間（15 ページ参照）に届くように、工学系学部学務室に簡易書留・速達郵便で送付してください。

また、次に該当する場合は、それぞれ所定の書類を併せて同封してください。

(注) 1 「出願用封筒」は、出願サイトから「出願用ラベル（宛名入り）」をダウンロードし、A 4 用紙にカラー印刷したものを、市販の角形 2 号封筒（240mm×332mm）に貼って作成してください。 2 「志願票」及び「出願用ラベル」の印刷後、記載内容に誤りがないか確認し、誤りがある場合は、速やかに工学系学部学務室に連絡してください。ただし、「現住所」及び「連絡先」に誤りがあった場合に限り、二重線を引き（訂正印は不要）、余白部分に正しい内容を明記の上、送付してください（志願票の※欄には何も記入しないでください）。		
出願書類		摘要
1	千葉大学志願票	出願サイトからダウンロードし、A 4 用紙にカラー印刷してください。
2	調査書	出身高等学校長等が作成したものを提出してください。 ※既卒者は、卒業後に発行された調査書を提出してください。
3	志望理由書 （物－1）	以下の URL から様式をダウンロードして、物質科学コースを志望する理由を 800 字以内で記入してください。黒のボールペンを用い、横書きで志望者本人が記入してください。 志望理由書により、大学で学びたい分野などを確認し、意欲等を評価します。誤って記入した場合は、修正液などで訂正し記入してください。なお、直接記入せずにワープロ等でプリントアウトした原稿を貼り付けても構いません。 https://www.f-eng.chiba-u.jp/admission/application.html
4	研究成果報告書 （物－2）	以下の URL から様式をダウンロードして、志願者がこれまでにやってきた自由研究（探求などの授業、SSH 活動やクラブ活動、あるいは学校外での研究、個人的な研究など）の概要を 800 字以内で、また、面接における研究成果の発表方式と合わせて記入してください。研究成果報告書と面接に基づいて、思考力、研究に対する主体性、熱意や素養などを総合的に評価します。 https://www.f-eng.chiba-u.jp/admission/application.html
5	自由研究、コンテスト、コンクール等の実績資料	自由研究、コンテスト、コンクール等に応募した論文、レポート等のコピーを、また受賞歴がある場合は、賞状、新聞記事等のコピーを提出してください。なお、提出した資料は返却しません。

（２）出願書類の受理通知

本学で出願書類を受理した後、不備がなければ、出願サイト（申込確認画面 ▶ 申し込み一覧）にその旨を掲載しますので、確認してください。不備がある場合は、工学系学部学務室から問い合わせがあります。

（３）受験票の印刷

受験票ダウンロード開始日以降、出願サイトで受験票をダウンロードし、必ず A 4 用紙にカラー印刷してください。

受験票ダウンロード開始日	令和 6 年 10 月 11 日（金）14 時以降（予定）
--------------	-------------------------------

(4) 出願の際の留意事項等

- ① 出願書類に不備がある場合は、受理しません。
- ② 出願後の出願内容の変更はできません。
- ③ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返却しません。
- ④ 志願票等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 本選抜の可否及び入学手続等に関する個人情報（氏名及び大学入学共通テスト受験番号）は、大学入試センター及び併願先の国公立大学（独自日程で入学者選抜を行う公立大学を除く。以下同じ。）に提供され、国公立大学の一般選抜合格者の決定を行うための情報として利用されます。
- ⑥ 本選抜の過程で収集した個人情報は入学者選抜の実施のほか、管理運営業務、修学指導業務、入学者選抜方法等における調査・研究に関する業務等を行うために利用します。

5. 入学者選抜

【方式Ⅰ】

選 抜	選抜期日及び日時	選 抜 方 法 等				
第 1 次選抜 (書類審査)	令和 6 年 10 月 2 日 (水) ～4 日 (金)	出願時に提出された書類 (調査書, 志望理由書, 研究成果報告書等) により, 第 1 次選抜合格者を決定します。				
第 2 次選抜 (面接)	令和 6 年 10 月 19 日 (土) 14 時 00 分～	第 1 次選抜合格者に対し, 研究成果の発表等の面接 (1 人当たり 20 ～30 分の面接時間で, 前半 10 分で研究成果の発表を, 後半で質疑応答を行います。研究成果の発表方式は自由ですが, 出願時に発表方式の申告が必要となります。)を工学部校舎で行い, 第 2 次選抜合格者を決定します。 なお, 受験に関する注意事項等の詳細については, 第 1 次選抜の合格通知書に同封するとともに, 令和 6 年 10 月 18 日 (金) 9 時に工学部掲示板へ掲示します。				
大学 入学共通テスト	令和 7 年 1 月 18 日 (土) ～19 日 (日)	第 2 次選抜合格者のうち, 令和 7 年度大学入学共通テストにおいて下表の指定教科・科目を受験し, 指定教科・科目の総得点 (配点合計) が概ね 70% に達した者を最終合格者として決定します。				
		大学入学共通テストの指定教科・科目等				
		指 定 教 科 ・ 科 目		指定 科目数	配 点	
		数 学	「数学Ⅰ, 数学 A」, 「旧数学Ⅰ・旧数学 A」※	1 科目	100	合計 850
			「数学Ⅱ, 数学 B, 数学 C」, 「旧数学Ⅱ・旧数学 B」※	1 科目	100	
		理 科	「物理」	1 科目	200	
			「化学」	1 科目	200	
		外 国 語	「英語 (リーディング+リスニング)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」	左記から 1 科目	200	
		情 報	「情報Ⅰ」, 「旧情報」※	1 科目	50	
		(注)				
※上記以外の教科・科目を受験しても, 本選抜には影響しません。 ※英語はリーディング (配点 160 点) とリスニング (配点 40 点) の合計 200 満点とします。 ※「旧～」で始まる科目は, 学習指導要領の改訂に伴う経過措置として実施される旧教育課程履修者のみ受験可能な科目です。新教育課程履修者は受験できません。						

【方式Ⅱ】

選 抜	選 抜 日 時	選 抜 方 法 等
面 接	令和 6 年 10 月 19 日（土） 14 時 00 分～	研究成果の発表等の面接（1 人当たり 20～30 分の面接時間で、前半 10 分で研究成果の発表を、後半で質疑応答を行います。研究成果の発表方式は自由ですが、出願時に発表方式の申告が必要となります。）を工学部校舎で行います。 提出された書類（調査書、志望理由書、研究成果報告書等）並びに研究発表、面接及び口頭試問により、総合判定のうえ合格者を決定します。（大学入学共通テストは免除します。） なお、受験に関する注意事項等の詳細については、令和 6 年 10 月 11 日（金）までに工学部のホームページ (https://www.f-eng.chiba-u.jp/) に掲載いたします。また、令和 6 年 10 月 18 日（金）9 時に工学部掲示板へ試験室等を掲示します。

6. 合格者発表等

方式Ⅰ

（１）第１次選抜合格者発表

第１次選抜合格者受験番号を令和 6 年 10 月 11 日（金）13 時頃に千葉大学工学部ホームページ (<https://www.f-eng.chiba-u.jp/>) へ掲載します。

（注）掲載は 10 月 15 日（火）17 時まで。

合格者には、選抜結果通知及び第 2 次選抜の注意事項等を送付します。また、方式Ⅰの受験者は、**第 1 次選抜合格者のみ受験票のダウンロードが同日 14 時以降（予定）可能となります。忘れずにダウンロードをしてください。**

なお、不合格者には、令和 7 年 3 月 31 日（月）17 時までに本人が所定の手続を行った場合に検定料の一部（13,000 円）を返還します。詳細は、別途通知します。

（２）第 2 次選抜合格者発表

第 2 次選抜合格者受験番号を令和 6 年 11 月 8 日（金）13 時頃に千葉大学工学部ホームページ (<https://www.f-eng.chiba-u.jp/>) へ掲載します（11 月 12 日（火）17 時まで）。また、合格者に同選抜結果通知書等の関係書類を送付します。

第 2 次選抜合格者には「令和 7 共通テスト成績請求票 国公立総合型選抜用」を工学系学部学務室へ送付していただきます。

（３）最終合格者発表

合格者に合格通知書等を送付します。なお、最終合格者発表日時については、第 2 次選抜合格者に別途通知します。

（注）合格者は、令和 7 年 2 月又は 3 月に実施する国公立大学の個別学力検査等を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。ただし、特別の事情があり、本学部に「入学辞退願」を提出し、その許可を受けた場合にはこの限りではありません。

方式Ⅱ

合格者受験番号を令和 6 年 11 月 8 日（金）13 時頃に千葉大学工学部ホームページ (<https://www.f-eng.chiba-u.jp/>) へ掲載します（11 月 12 日（火）17 時まで）。また、合格者に合格通知書等を送付します。

（注）合格者は、令和 7 年 2 月又は 3 月に実施する国公立大学の個別学力検査等を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。ただし、特別の事情があり、本学部に「入学辞退願」を提出し、その許可を受けた場合にはこの限りではありません。

7. 入学手続等

(1) 入学手続方法

令和6年度入学手続から「WEB入学手続きシステム」を導入しています。合格者の皆様の利便性を図るため、システムを利用いただくことで大学への来校を不要とし、入学料納入もクレジットカード決済やコンビニ支払いとします。「WEB入学手続きシステム」や「入学手続」の詳細は千葉大学ホームページへ掲載し、合格者の皆様には合格通知書とともに手続き方法の案内を発送します。入学手続を行わないと入学を辞退したものと見なしますので十分注意してください。

(注) 1 入学手続には、令和7年度の「大学入学共通テスト受験票」(方式Iのみ)及び「千葉大学受験票(又は合格通知書)」が必要ですので大切に保管してください。

2 本選抜の入学手続を完了した場合、他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。

(2) 入学手続の際に納入する主な経費

入学料……………282,000円

総合工学科医工学コース以外の学生

学生教育研究災害傷害保険料……4,660円(4年分)(学研災付帯賠償責任保険Aコース含む)

総合工学科医工学コースの学生

学生教育研究災害傷害保険料……4,730円(4年分)(学研災付帯賠償責任保険Aコース、接触感染予防保険金支払特約含む)

(注) 1. 入学料の納入については、入学手続時に納入願います。詳細な納入期間及び納入方法は、合格通知書に同封の関係書類により、改めてお知らせします。

2. 授業料の納入については、入学年度の前期授業料は5月(2年目以降は4月となります。)に、後期授業料は10月に、それぞれ口座振替により納入願います。口座振替手続等の詳細は、合格者に対して改めてお知らせします。

なお、前期分・後期分授業料は、それぞれ321,480円(年額642,960円)です。

3. 入学料及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

4. 納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

5. 入学料及び授業料が免除される制度があります。詳細は、千葉大学ホームページ(<https://www.chiba-u.ac.jp/students/payment/exemption.html>)をご覧ください。



6. 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険料は、令和7年3月31日(月)までに払い込んでください。

※当該保険について

正課中、学校行事中、課外活動中、通学中における傷害事故に対して補償するものです。又、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したりした場合の補償も含まれます。なお、保険料の改定が行われた場合には、改定時から新保険料が適用されます。詳細は、千葉大学ホームページ(https://www.chiba-u.ac.jp/for_school-life/support.html)をご覧ください。

7. 入学手続完了者が3月31日(月)17時までに入学を辞退した場合には、申し出により既に納入済の学生教育研究災害傷害保険料を返還します。

8. コース及び特別カリキュラムの紹介

■物質科学コース

＜物理学/化学の枠組みを超えて、物質の本質に迫り、その機能を応用する＞

工学の数多くのイノベーションの成果は、物質・材料を介して目に見える形へと実現されていきます。近年の科学技術の進歩により、原子や分子、その集合体をより精密に操作することが可能になりつつあります。これによって、さまざまな新しい現象が見つかり、新しい形での応用ができる

ようになってきました。これらは広くナノテクノロジーと呼ばれていますが、物理学や化学を包含し、現在も大きく発展し続けている境界的な科学・工学領域です。そして、たとえば新しい電子デバイスや画像デバイスが、このような技術に基づいて生まれてくることが期待されています。物質科学コースは、物理学および化学を基礎としつつ、その枠組みを超えて、さまざまな物質の性質・機能を探り、またそれを工学的に応用・活用することを目指しています。物質についての理解は現代の科学の根幹をなすものであり、高度情報化社会の基礎を支える物質についての科学を、深く掘り下げると同時に幅広い眼で全体を俯瞰し、また応用展開できる人材を育成する—これが本コースの目標です。

物質科学で学ぶべき対象は極めて広範囲にわたるため、物理学的な側面からの教育プログラムと、化学的側面からの教育プログラムがあり、学生はいずれかを選択します。これらのプログラムは独立なものではなく、共通して学ぶ部分も多く、相互に連携したものです。どちらも、物質科学の理解を通して広く自然科学や工学技術一般についても深い理解を得られるように構成されています。これらによって、分野の壁を越えた科学的方法論（思考法、探求法）と、それらの工学的応用価値や社会的意義を深く理解し、実践できる技術者、研究者を育てます。特に、4年次で行われる1年間の卒業研究では、コース教員の研究室で研究チームの一員として最先端の研究を行います。

本コースでは、その主な母体となった画像科学科とナノサイエンス学科の教育及び研究を発展的に統合・継承しています。両学科とも、他大学にはないユニークな視点と教育内容をもった学科であり、社会や産業界で高く評価されている人材を輩出してきました。物質科学コースの卒業生にも高い社会的期待が寄せられています。本コースを修めた学生に想定される就職先としては、電気、印刷・写真、通信、情報、半導体、エネルギー等に関わる会社や技術系の公務員が挙げられます。また、本コースで所定の科目を履修すると、中学校及び高等学校の理科教諭免許を取得することができます。

物質科学コースホームページ <https://www.tp.chiba-u.jp/ms/>

■特別カリキュラム

この選抜で入学した「理数大好き学生」には、通常の授業に加えて、「先端科学探究コース」と呼ばれる特別カリキュラムを受講することができます。この特別カリキュラムでは、以下のような自由課題研究を中心とした「プロジェクト研究Ⅰ～Ⅵ」が開講されています。このカリキュラムをすべて履修すると、卒業後の成績証明書に「先端科学探究コース修了」と記載されます。

○物理実験に必要な基礎技術の習得：ノギス、マイクロメータ、秤の使い方、テスタを使った電圧、電流の測定、オシロスコープの使い方、コンピュータによるデータ整理、機械工作（旋盤、ボール盤、フライス盤）、電子工作（電源、発振回路）など

○化学に関する基礎実験：導電性高分子の合成、振動反応など

○自由課題研究：学生からの自主的なテーマ提案による課題研究（事前打ち合わせ、中間報告会、最終報告会、レポート作成、サイエンス・インカレ応募など）

また、「理数大好き学生」には、学習・研究のための自習室が用意されていて、1年次生から利用できます。自習室にはパソコンと実験機器が準備されていて、通常の授業の予習、復習はもちろんのこと、各自の自由課題研究を進めることもできます。また、自習室の近くには物質科学コースの先生の研究室があるので、いろいろなことを相談しやすい環境になっています。

9. 令和6年度物質科学コース総合型選抜実施状況

募集コース 選抜区分	募集 人員	志願者数			第1次選抜 合格者数			第2次選抜 合格者数			最終 合格者数		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
物質科学コース 方式Ⅰ	9	3	2	5	3	2	5	3	2	5	1	1	2
物質科学コース 方式Ⅱ		0	0	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－

Ⅲ 入学後の教育について

工学部では、次のとおりコースごとに入学者を募集します。出願したコースで合格すれば「総合工学科」の志願したコースに配属されます。また、複数のコースを束ねた3つの系（「建築・デザイン系」、「機械・電気・応用物理系」、「応用化学・環境系」）のいずれかに所属します。

各コースに正式に配属される2年次進級時には、前述のとおり入学時に配属されたコースに進学することが可能ですが、希望により1年次に所属する系内の別のコースへ進むこともできます。ただし、別のコースに進む場合は、面接により教育上の必要性を判断します。また、各コースが課している条件や教室設備等の収容人数の関係により、一定の制限があります。さらに、希望者が多数となった場合は1年次の成績により可否を決定します。ただし、総合型選抜での入学者はコースの変更はできません。

（１）募集人員及び系について

コース	募集人員			系(1年次の教育)		
	一般選抜		特別選抜	建築・デザイン系	機械・電気・応用物理系	応用化学・環境系
	前期日程	後期日程	総合型選抜			
計	407	104	29			
建築学コース	(50)	(19)	-	◎	-	-
都市工学コース	(30)	(12)	-	◎	○	-
デザインコース	(44)	-	20	◎	-	-
機械工学コース	(55)	(19)	-	-	◎	-
医工学コース	(30)	(9)	-	-	◎	-
電気電子工学コース	(56)	(20)	-	-	◎	-
物質科学コース	(70)	-	9	-	◎	◎
共生応用化学コース	(72)	(25)	-	-	-	◎

※募集人員の各コースの内訳〔（ ）内の数〕人数はおおよその数であり、志願状況等で増減します。

（２）系についての説明

系（1年次の教育）について、◎は各コースが主とする教育内容の系を示しており、コースの学生の多くが所属することを想定している系になります。また、○は各コースが副とする教育内容の系を示します。系の所属は、出願時に志願するコースとともに◎もしくは○の系を選択して、所属することになります。1年次の授業については、工学全体を理解するための授業（工学基礎セミナー）、所属する系に関係するコースを中心に各コースの専門分野について理解を深めるための授業（工学入門A～C）を実施し、2年次以降のコース配属や専門的な授業の履修に繋がるよう配慮がなされます。なお、総合型選抜での入学者はコースの変更はできません。

建築・デザイン系	建築学コース，都市工学コース，デザインコースに配属された学生が所属する系です。
機械・電気・応用物理系	都市工学コース，機械工学コース，医工学コース，電気電子工学コース，物質科学コースに配属された学生が所属する系です。
応用化学・環境系	物質科学コース，共生応用化学コースに配属された学生が所属する系です。

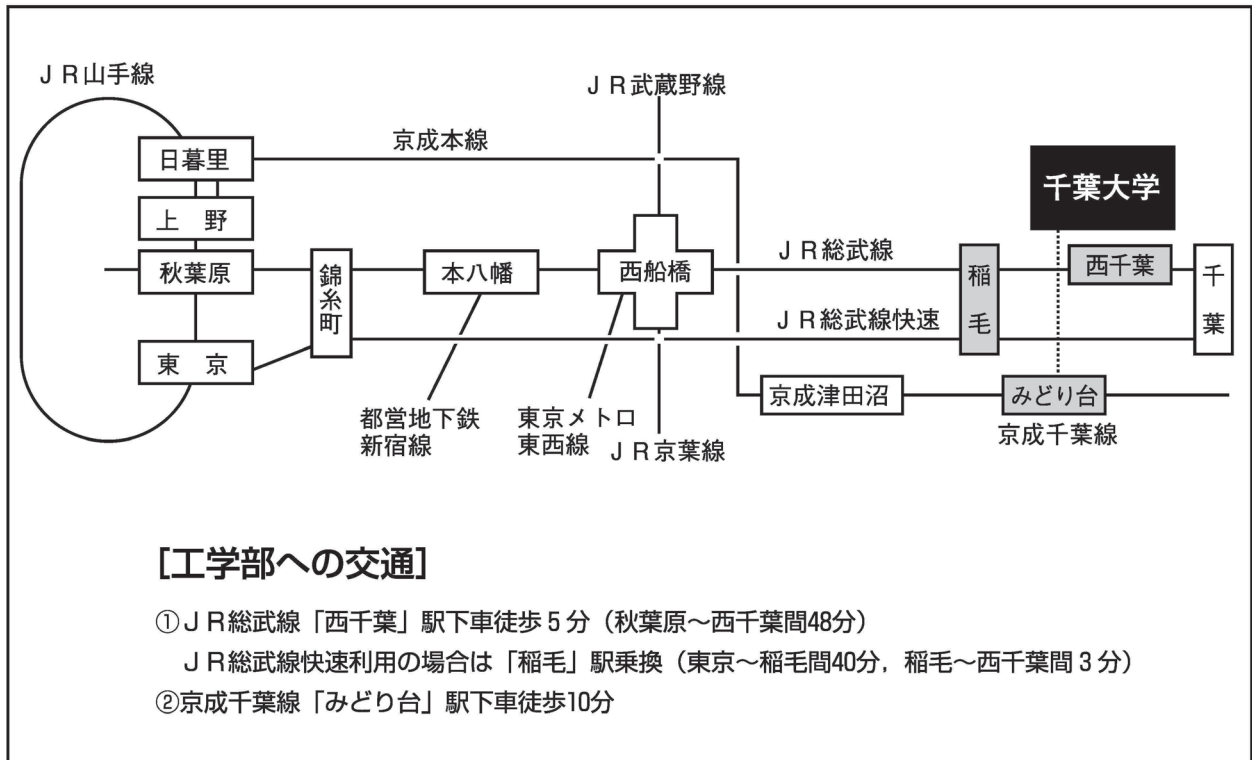
Ⅳ 次年度入学者選抜の変更（予告）

令和 8 年度入学者選抜から工学部総合工学科 物質科学コースにおける出願資格等及び選抜方法等を以下のとおり変更します。

出願資格等	方式Ⅰ 次の①～③のすべての要件を満たす者 ①次のいずれかに該当する者 ア 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業した者及び令和 8 年 3 月卒業見込みの者 イ 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 8 年 3 月修了見込みの者 ※特別支援学校の高等部又は高等専門学校の 3 年次を修了した（見込みの）者が該当します。 ウ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 エ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者 オ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者 カ 文部科学大臣の指定した者 キ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び令和 8 年 3 月までに合格見込みの者 ク 学校教育法第九十条第二項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの ②高等学校等において物理基礎及び化学基礎又はそれに準ずる科目を修得している者 ③理科に関する実験・調査活動・クラブ活動などを通して、主体的に自由研究を行った者 方式Ⅱ 次の①～②のすべての要件を満たす者 ①次のいずれかに該当する者 ア 高等学校（中等教育学校を含む）を卒業した者及び令和 8 年 3 月卒業見込みの者 イ 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 8 年 3 月修了見込みの者 ※特別支援学校の高等部又は高等専門学校の 3 年次を修了した（見込みの）者が該当します。 ウ 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者、又は、これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 エ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者 オ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であること、その他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和 8 年 3 月までに修了見込みの者 カ 文部科学大臣の指定した者 キ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び令和 8 年 3 月までに合格見込みの者
-------	--

	ク 学校教育法第九十条第二項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの ② 高校生等を対象とした個人研究で、著名な国際科学コンクールの日本代表又はそれに準ずる成績をおさめた者 (注) “著名な国際科学コンクールの日本代表又はそれに準ずる成績をおさめた者”に関する具体例としては下記のような賞があります。 国際学生科学技術フェア (Intel ISEF) の日本代表を決める際の選出対象となる下記の賞 1) 日本学生科学賞 入賞者 (内閣総理大臣賞, 文部科学大臣賞, 環境大臣賞, 科学技術政策担当大臣賞, 全日本科学教育振興委員会賞, 読売新聞社賞, 科学技術振興機構賞, 日本科学未来館賞, 旭化成賞, 読売理工学院賞) など 2) 高校生科学技術チャレンジ グランドアワード 3 賞 (文部科学大臣賞, 科学技術政策担当大臣賞, 科学技術振興機構賞), 特別協賛社賞, 協賛社賞, 主催者賞, 協力社賞, 特別奨励賞, 審査委員奨励賞など
選抜方法等	方式 I ① 出願時に提出された書類 (調査書、志望理由書、研究成果報告書等) による書類審査と数学に関する筆記試験により第 1 次選抜合格者を決定します。 ② 研究成果の発表等の面接により、最終合格者を決定します。 方式 II 変更なし

千葉大学案内図



千葉大学工学系学部学務室

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1番33号

電話：043(290)3054 mail: mak3054@office.chiba-u.jp

問い合わせは月曜日から金曜日（祝日等を除きます）の9時から12時及び13時から17時まで